



ユーザ デバイス プロファイルの確認

[UDP の検証 (Validate User Device Profiles)] を選択すると、システムは確認ルーチンを実行して、CSV データ ファイルが要求されたフィールド (たとえば、デバイス プロファイル名、および電話番号) をすべて読み込んでいるかどうかをチェックし、最初のノード データベースとの不一致がないかをチェックします。

始める前に

- 追加するデバイス用のデバイス プロファイル テンプレートを用意します。1 回線のユーザ デバイス プロファイルの追加には、複数回線のユーザ デバイス プロファイル テンプレートが使用できます。詳細については、[P.35-3 の「ユーザ デバイス プロファイル用の Cisco Unified Communications Manager 一括管理 \(BAT\) テンプレートの作成」](#)を参照してください。
- ユーザ デバイス プロファイルに固有の詳細情報を含む CSV データ ファイルを用意します。次のオプションを参照してください。
 - [BAT スプレッドシートを使用したユーザ デバイス プロファイル CSV データ ファイルの作成 \(P.34-3\)](#)
 - [ユーザ デバイス プロファイルの確認 \(P.38-2\)](#)

ユーザ デバイス プロファイルの確認

CSV データ ファイルのユーザ デバイス プロファイル レコードを確認する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザデバイスプロファイル (User Device Profiles)] > [UDP の検証 (Validate User Device Profiles)] の順に選択します。

[ユーザデバイスプロファイルの確認 (Validate User Device Profiles Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 CSV データ ファイルに対応する挿入オプションを選択します。

- [UDP 固有の詳細の確認 (Validate UDP Specific Details)] : ファイル形式を使用するユーザ デバイス プロファイル レコードを確認する場合。
- [UDP すべての詳細の確認 (Validate UDP All Details)] : [すべての詳細 (All Details)] オプションを使用して生成されたエクスポート ファイルからのユーザ デバイス プロファイル レコードを確認する場合。

ステップ 3 [ファイル名 (File Name)] フィールドで、この特定のバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

ステップ 4 [UDP 固有の詳細の確認 (Validate UDP Specific Details)] オプションを選択する場合は、[UDP テンプレート名 (UDP Template Name)] フィールドで、このタイプのバルク トランザクション用に作成した Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) ユーザ デバイス プロファイル テンプレートを選択します。

ステップ 5 [送信 (Submit)] をクリックすると、選択した CSV データ ファイルとデータベースが検証されます。

ジョブが、[一括管理 (Bulk Administration)] メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションに作成されます。ジョブ スケジュールを変更するには、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウを使用します。ジョブの詳細については、[第 66 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.67-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

関連項目

- ユーザ デバイス プロファイル用の Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) テンプレートの作成 ([P.35-3](#))
- BAT スプレッドシートを使用したユーザ デバイス プロファイル CSV データ ファイルの作成 ([P.34-3](#))
- ジョブのスケジュール ([P.66-1](#))
- BAT ログ ファイル ([P.67-4](#))